子ども・子育て支援に関する
ニーズ調査結果報告書
【概要版】

平成 31 年 3 月

川越市　こども政策課

川越市　子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果報告書【概要版】

目　次

調査の概要 1
（１）調査の目的 1
（２）調査の種類 1
（３）調査期間 1
（４）配布数及び回収数 1

１．子どもと家族の状況について 2
1-1．子どもの年齢 2
1-2．子どもの数 2
1-3．子育てを主に行っている人 3

２．子どもの育ちをめぐる環境について 3
2-1．子育てに日常的に関わっている方（施設）（複数回答） 3
2-2．日頃、子どもをみてもらえる親族・知人（複数回答） 4
2-3．子育てをする上で、気軽に相談できる人 4
2-4．子育てに関して、気軽に相談できる先（複数回答） 5

３．保護者の就労状況について 6
3-1．保護者の就労状況 6
3-2．パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望 7
3-3．就労していない人の就労希望 8
3-4．就労していない人の就労を希望する時期 8

４．子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について 9
4-1．幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」の利用 9
4-2．利用している事業（複数回答） 9
4-3．事業を利用している理由（複数回答） 10
4-4．事業を利用していない理由（複数回答） 10
4-5．平日の教育・保育の事業として、定期的に利用したいと考える事業（複数回答） 11
4-6．送迎保育事業の利用希望 12
4-7．事業を利用したいと思わない理由（複数回答） 12

５．地域の子育て支援事業の利用状況について 13

5-1. 地域子育て支援拠点事業の利用状況（複数回答）.....13
5-2. 地域子育て支援拠点事業の利用希望.....13

６．土曜・日曜や長期休暇中の保育事業の利用希望について.....14
6-1. 土曜日の利用希望.....14
6-2. 日曜・祝日の利用希望.....14
6-3. 幼稚園利用者の長期休暇期間中の事業の利用希望.....15
6-4. 「幼稚園」を利用している方が長期休暇期間中、たまに利用したい理由.....15
（複数回答）.....15

７．病気の際の対応について.....16
7-1. 事業が利用できなかった場合の対処方法（複数回答）.....16
7-2. 病児・病後児のための保育施設等の利用希望.....16
7-3. 子どもを預ける場合の望ましい事業形態（複数回答）.....17

８．不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....17
8-1. 不定期に利用している事業（複数回答）.....17
8-2. 現在利用していない理由（複数回答）.....18
8-3. 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用希望.....18
8-4. 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらったことがあったか.....19

９．小学校就学後の放課後の過ごし方について.....20
9-1. 放課後の過ごし方（複数回答）.....20
9-2. 土曜日の放課後児童クラブの利用希望.....21
9-3. 日曜・祝日の利用希望.....21

１０．育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....22
10-1. 父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得したか.....22
10-2. 育児休業給付と保険料免除の認知度.....24
10-3. 短時間勤務制度の利用.....24
10-4. 川越市の子育ての環境や支援への満足度.....25

調査の概要

（１）調査の目的

第２期川越市子ども・子育て支援事業計画策定の基礎となる「幼児教育・保育及び地域の子育て支援」の「量の見込み」の設定及び「今後の利用希望」による各事業のニーズ量の適切な把握のため、本調査を実施しました。

（２）調査の種類

種　類		対象者	対象者数	実施方法
1	就学前児童保護者	就学前児童がいる家庭の保護者	2,300	郵送により配付・回収
2	放課後児童クラブ（学童保育）保護者	学童保育を利用している児童の保護者	2,247	放課後児童クラブを通じ配布・回収
3	幼稚園保護者・認定こども園１号認定保護者	幼稚園・認定こども園を利用している幼児の保護者	5,613	幼稚園・認定こども園を通じ配布・回収
4	商工会議所会員事業所	市内の事業所の事業主	599	郵送により配付・回収
5	休日就労保護者	４の事業所で休日就労している就学前児童の保護者	176	事業所を通じ配布 郵送により回収

（３）調査期間

種　類		期　間
1	就学前児童保護者	平成 30 年 10 月 1 日（月）～ 平成 30 年 10 月 19 日（金）
2	放課後児童クラブ（学童保育）保護者	平成 30 年 10 月 1 日（月）～ 平成 30 年 10 月 19 日（金）
3	幼稚園保護者	平成 30 年 6 月 6 日（水）～ 平成 30 年　7 月　6 日（金）
4	認定こども園 1 号認定保護者	平成 30 年 6 月 26 日（火）～ 平成 30 年　8 月 10 日（金）
5	商工会議所会員事業所	平成 30 年 10 月 1 日（月）～ 平成 30 年 10 月 19 日（金）
6	休日就労保護者	平成 30 年 10 月 1 日（月）～ 平成 30 年 11 月 30 日（金）

（４）配布数及び回収数

種　類		調査票配布数	有効回収数	有効回収率
1	就学前児童保護者	2,300	1,295	56.3%
2	放課後児童クラブ（学童保育）保護者	2,247	1,618	72.0%
3	幼稚園保護者・認定こども園 1 号認定保護者	5,613	5,034	89.7%
4	商工会議所会員事業所	599	141	23.5%
5	休日就労保護者	176	55	31.3%

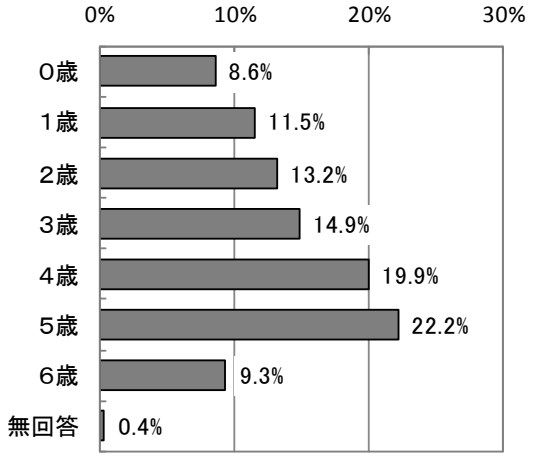
１．子どもと家族の状況について

1-1. 子どもの年齢

（就学前児童保護者　問 2）

子どもの年齢（平成 30 年 9 月 1 日基準）は、「5 歳」が 22.2%と最も高く、次いで「4 歳」が 19.9%、「3 歳」が 14.9%となっています。

(n=1,295)

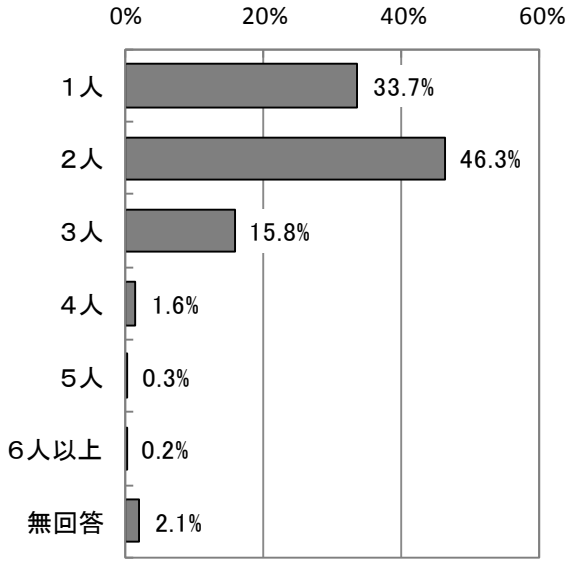


1-2. 子どもの数

（就学前児童保護者　問 3）

1 世帯当たりの子どもの人数は、「2 人」が 46.3%と最も高く、次いで「1 人」が 33.7%、「3 人」が 15.8%となっています。

(n=1,295)

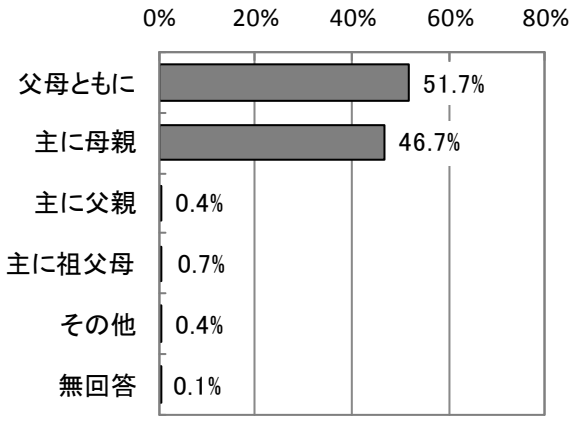


1-3. 子育てを主に行っている人

（就学前児童保護者　問 6）

子どもの子育て(教育を含む)を主に行っているのは、「父母ともに」が 51.7%と最も高く、次いで「主に母親」が 46.7%となっています。

(n=1,295)



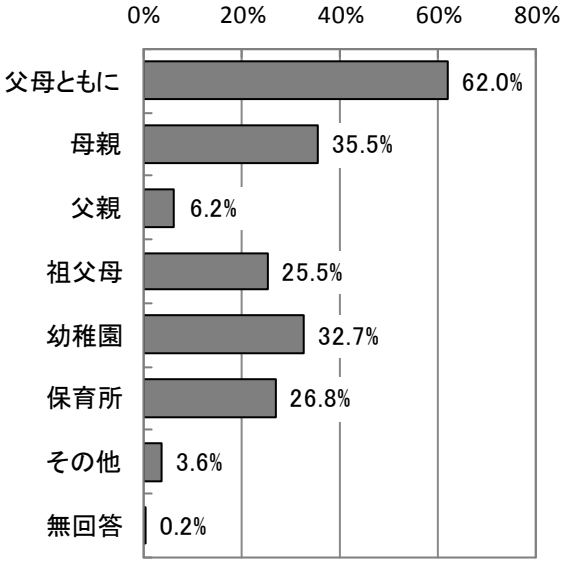
２．子どもの育ちをめぐる環境について

2-1. 子育てに日常的に関わっている方（施設）（複数回答）

（就学前児童保護者　問 7）

子どもの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方は、「父母ともに」が 62.0%と最も高く、次いで「母親」が 35.5%、「幼稚園」が 32.7%となっています。

(n=1,295)

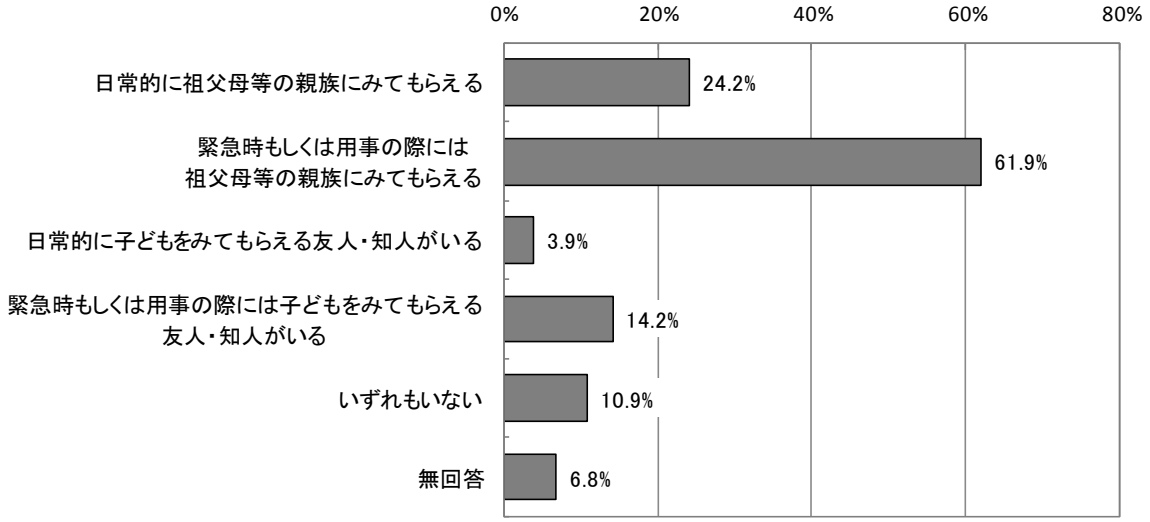


2-2. 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人（複数回答）

（就学前児童保護者　問 9）

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 61.9%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 24.2%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 14.2%となっています。

(n=1,295)

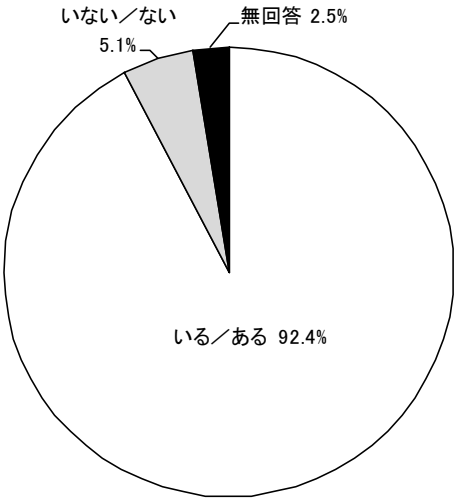


2-3. 子育てをする上で、気軽に相談できる人

（就学前児童保護者　問 10）

子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる人及び場所の有無は、「いる／ある」が 92.4%、「いない／ない」が 5.1%となっており、「いる／ある」が大きく上回っています。

(n=1,295)



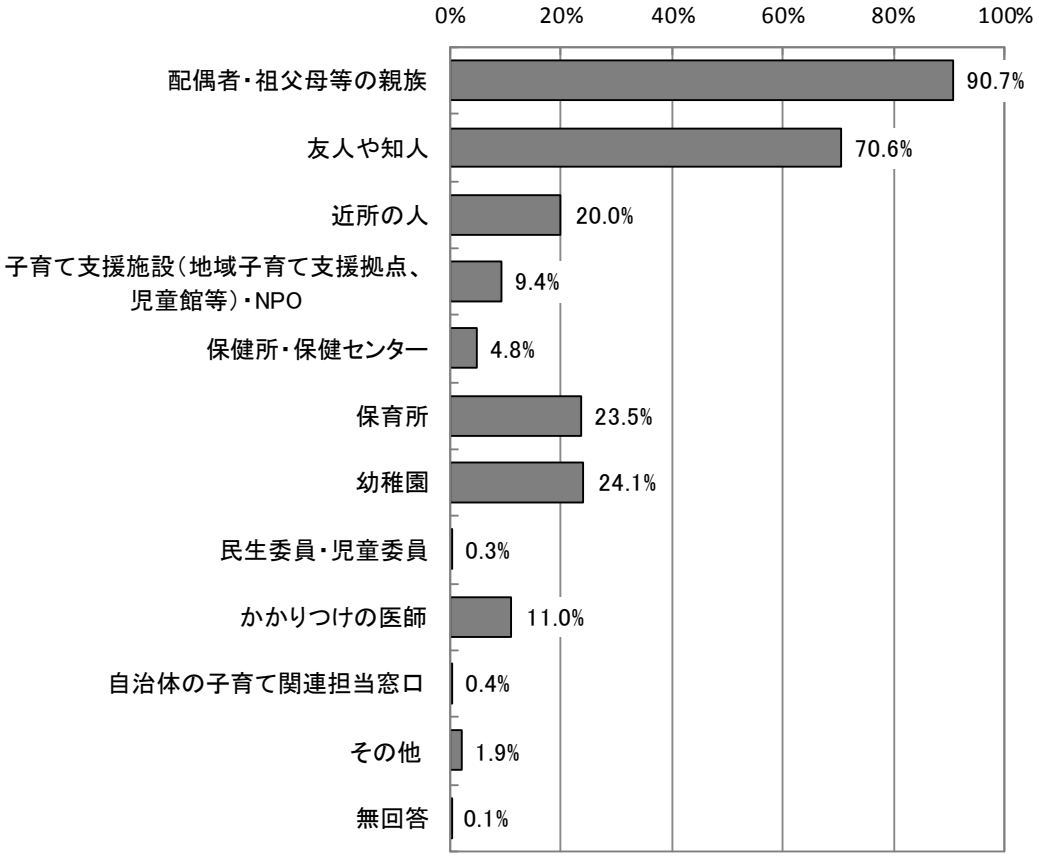
2-4. 子育てに関して、気軽に相談できる先（複数回答）

（就学前児童保護者　問 10-1）

※問 10 で「いる/ある」を選んだ人を集計。

子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、「配偶者・祖父母等の親族」が 90.7%と最も高く、次いで「友人や知人」が 70.6%、「幼稚園」が 24.1%となっています。

(n=1,432)



３．保護者の就労状況について

3-1. 保護者の就労状況

（就学前児童保護者　問 12-(1)、(2)）

母親の就労形態は、「就労していない」が 39.2%と最も高く、次いで「非正規雇用（パート・アルバイト含む）」が 30.5%、「正規雇用」が 29.0%となっています。

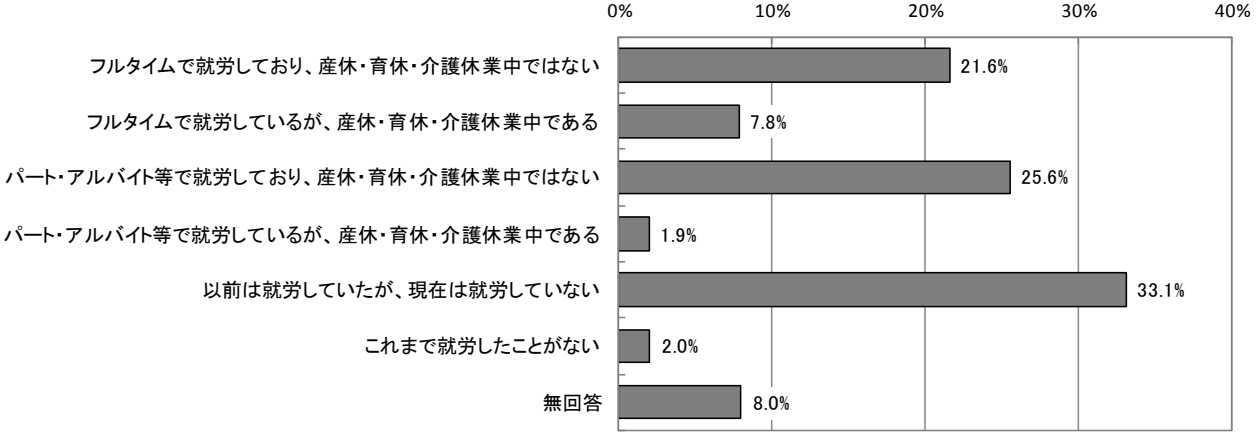
母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 33.1%と最も高くなっています。

また、就労している母親では、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 25.6%と最も高く、「フルタイム(1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 21.6%となっています。

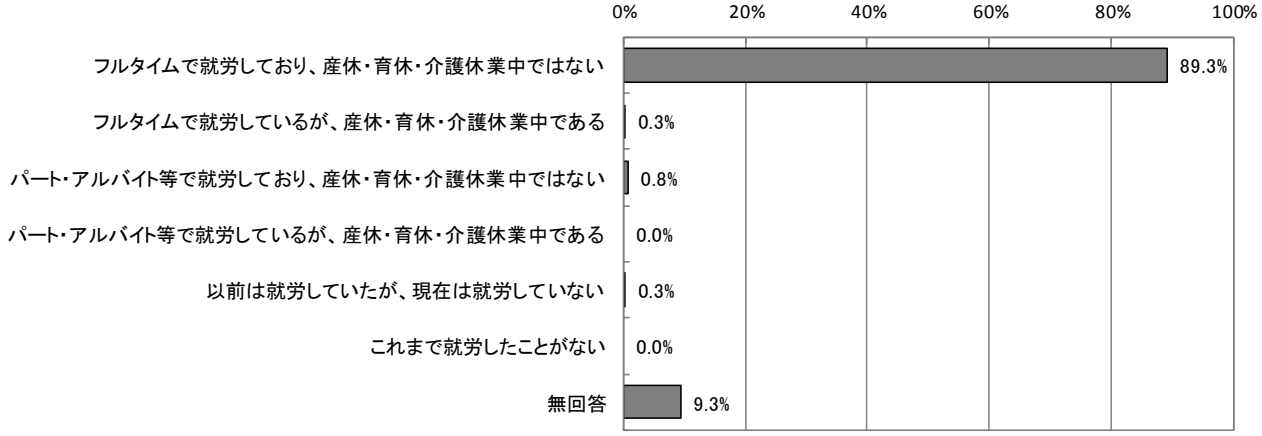
産休・育休・介護休業中の割合は、フルタイムとフルタイム以外を合わせて 9.7%となっています。

また、父親の就労状況は、「フルタイム（育休・介護休業中ではない）」が 89.3%と最も高くなっています。

母親　(n=1,295)



父親　(n=1,295)



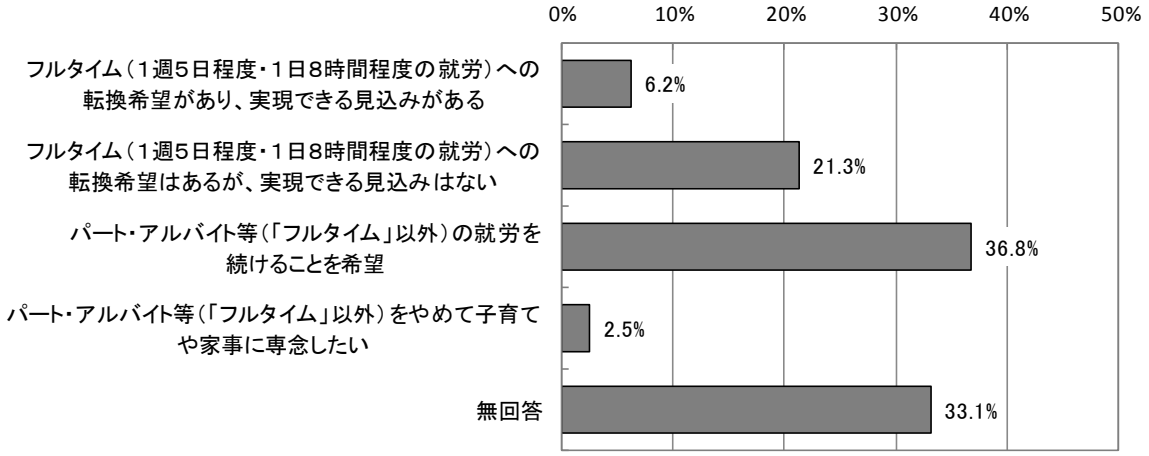
3-2. パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望

（就学前児童保護者　問 13-(1)、(2)）

フルタイム以外で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が 36.8%と最も高く、次いで、「フルタイム(1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 21.3%となっています。

また、フルタイム以外で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が 3 件と最も多く、次いで「フルタイム(1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が 2 件となっています。

母親　(n=356)



父親　(n=10)

項目	度数	構成比
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	2	20.0%
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	1	10.0%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	3	30.0%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	1	10.0%
無回答	3	30.0%
回答者数	10	100.0%
非該当	1,285	
合計	1,295	

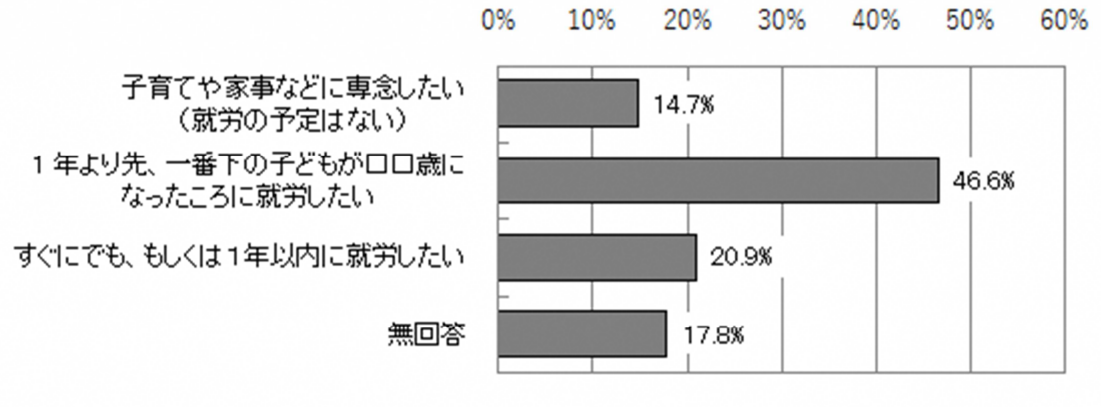
※母集団が少ないため、グラフは省略します。

3-3. 就労していない人の就労希望

（就学前児童保護者　問 14）

現在就労していない母親の就労希望は、「1 年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」が 46.6%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が 20.9%、「子育てや家事などに専念したい」が 14.7%となっています。

母親　(n=455)

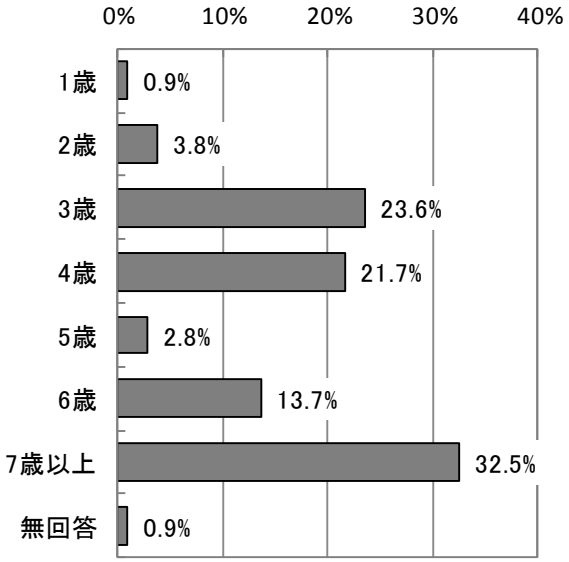


3-4. 就労していない人の就労を希望する時期

（就学前児童保護者　問 14）

就労を希望する時期（一番下の子どもの年齢）は、「7 歳以上」が 32.5%と最も高くなっています。

母親　(n=212)



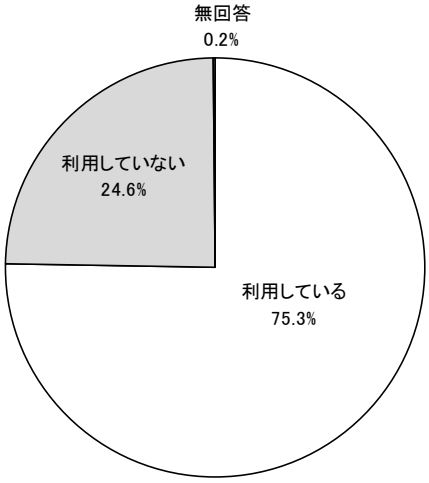
４．子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

4-1. 幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」の利用

（就学前児童保護者　問 15）

定期的な教育・保育の事業を「利用している」が 75.3%、「利用していない」が 24.6%となっています。

（n=1,295）

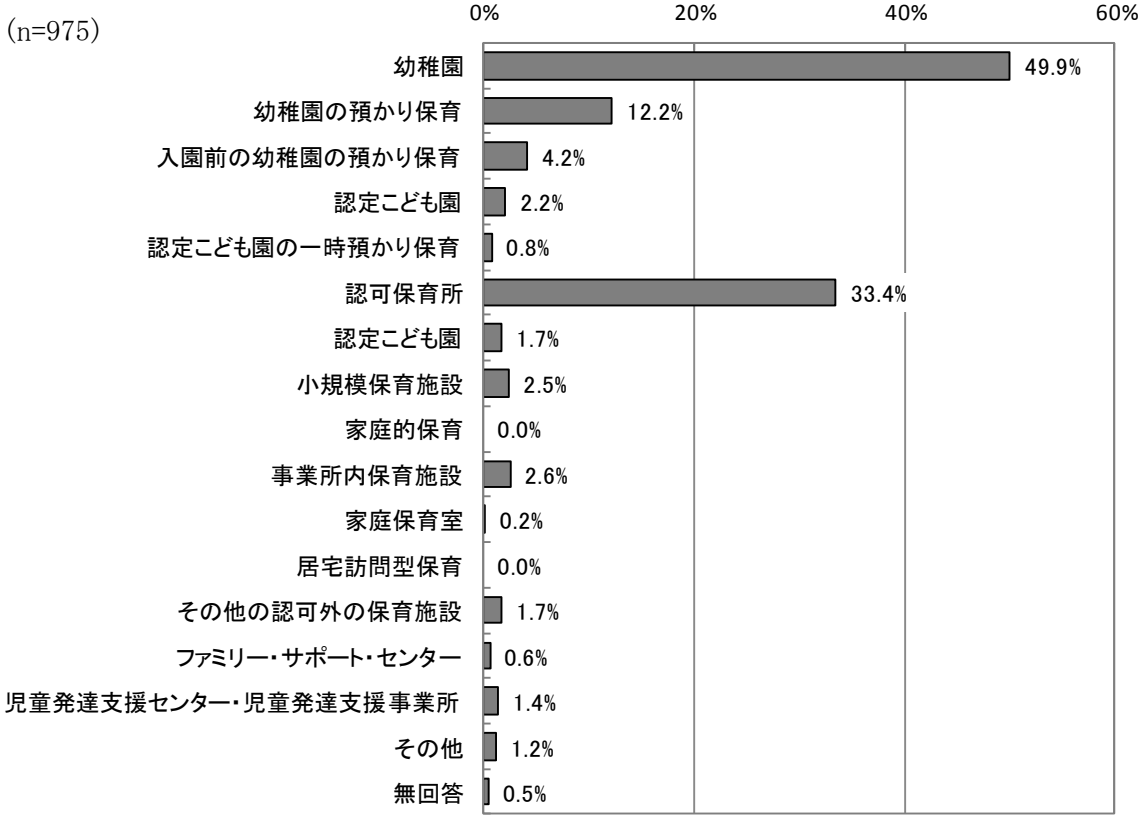


4-2. 利用している事業（複数回答）

（就学前児童保護者　問 15-1）

平日の教育・保育の事業の利用種別は、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 49.9%と最も高く、次いで「認可保育所（市などの認可を受けた施設）」が 33.4%、「幼稚園の預かり保育」が 12.2%となっています。

（n=975）

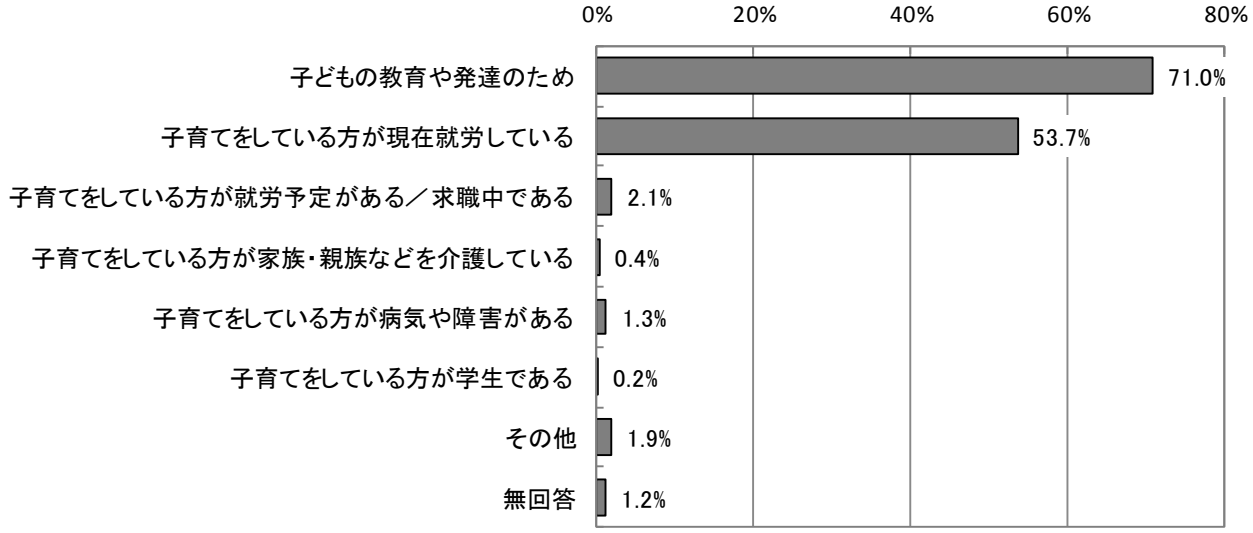


4-3. 事業を利用している理由（複数回答）

（就学前児童保護者　問 15-5）

平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」が 71.0%と最も高く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」が 53.7%となっています。

(n=975)



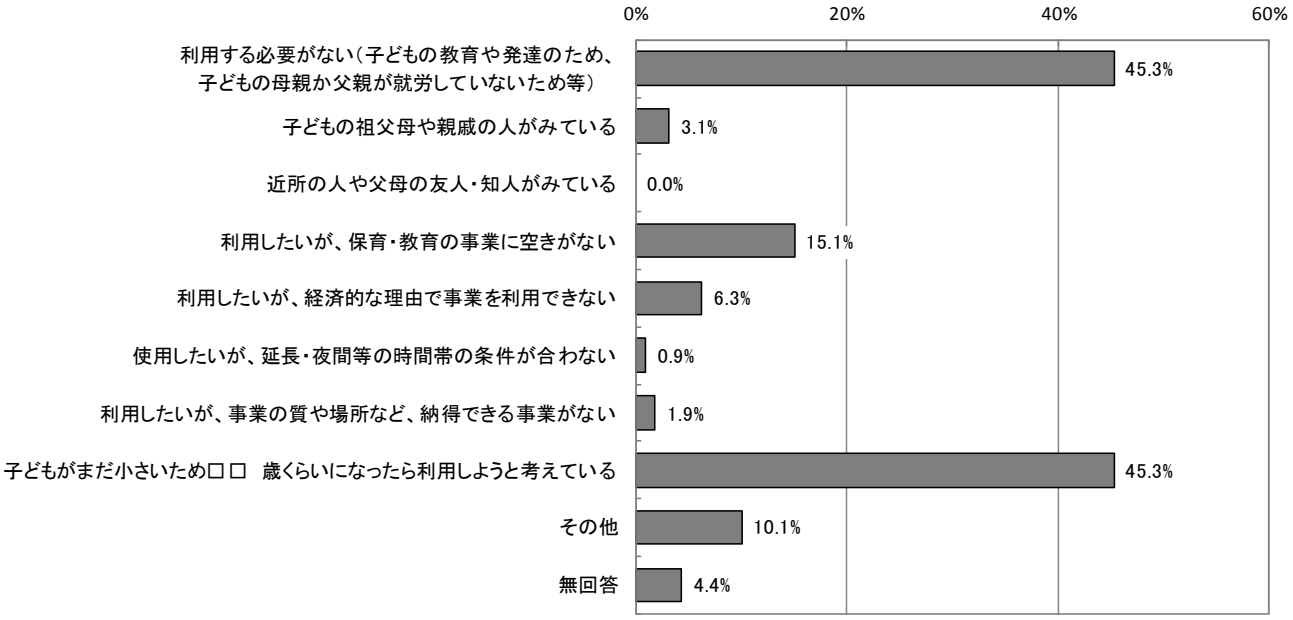
4-4. 事業を利用していない理由（複数回答）

（就学前児童保護者　問 15-6）

定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「利用する必要がない」と「子どもがまだ小さいため□□歳くらいになったら利用しようと考えている」がともに 45.3%と最も高くなっています。

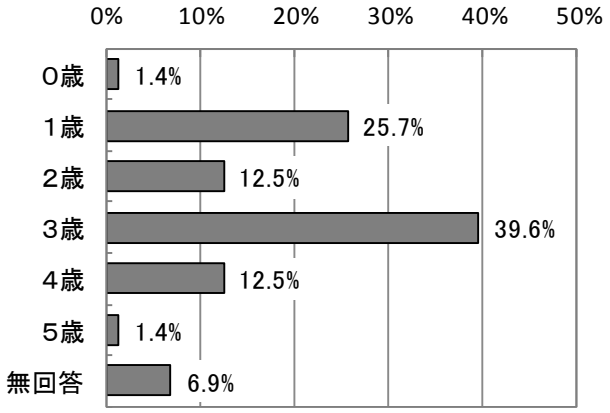
また、教育・保育事業の利用開始年齢は、「３歳」が 39.6%と最も高くなっています。

(n=318)



■教育・保育事業の利用開始年齢

(n=144)

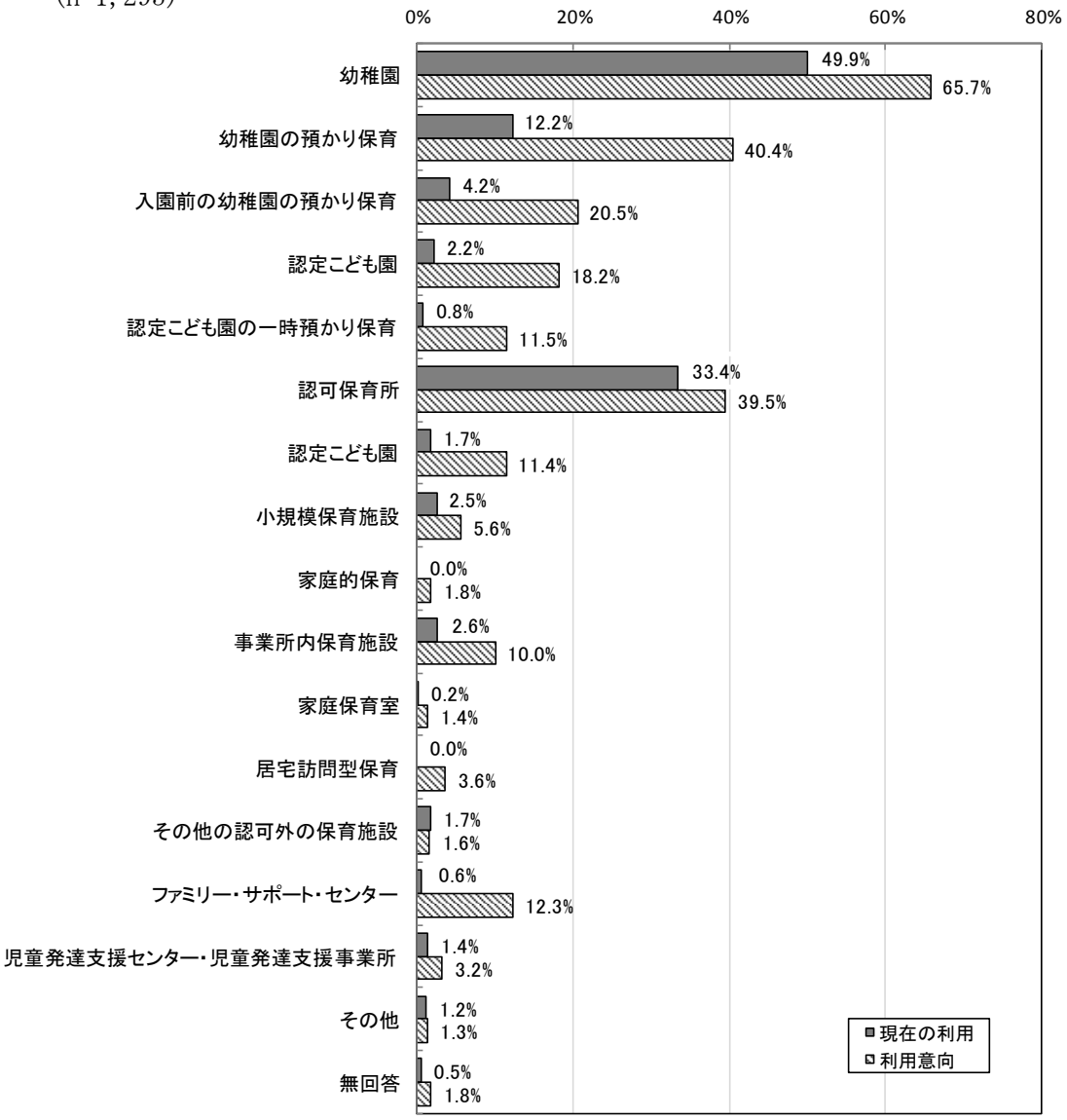


4-5. 平日の教育・保育の事業として、定期的に利用したいと考える事業（複数回答）

（就学前児童保護者　問 16）

平日の教育・保育の事業の利用意向は、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 65.7%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が 40.4%、「認可保育所」が 39.5%となっています。

(n=1,295)

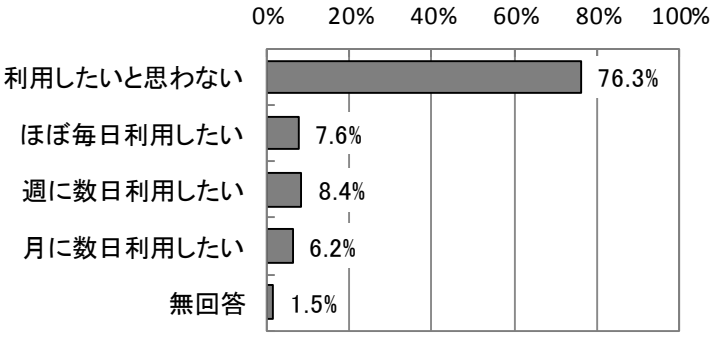


4-6. 送迎保育事業の利用希望

（就学前児童保護者　問 17）

送迎保育事業の利用希望は、「利用したいと思わない」が 76.3%と最も高く、次いで「週に数日利用したい」が 8.4%、「ほぼ毎日利用したい」が 7.6%となっています。

(n=1,295)

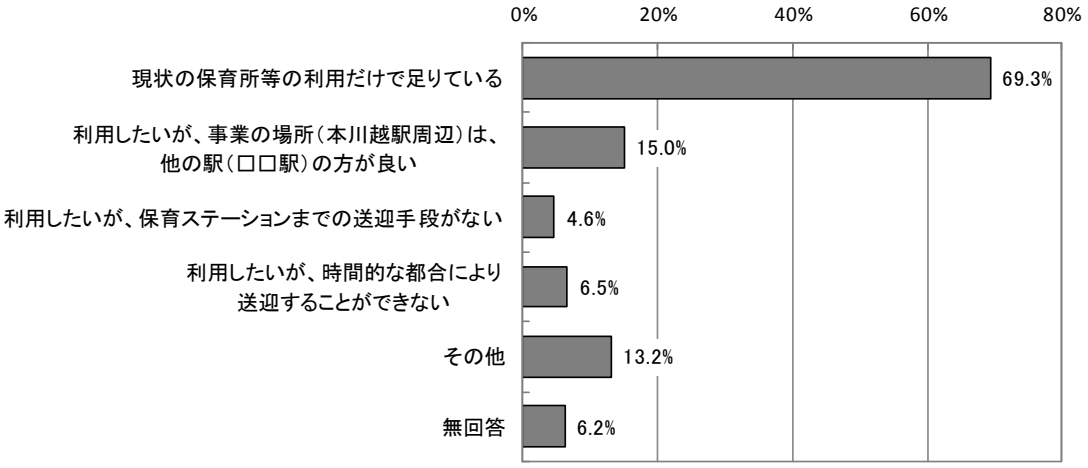


4-7. 事業を利用したいと思わない理由（複数回答）

（就学前児童保護者　問 17-2）

送迎保育事業を希望しない理由は、「現状の保育所等の利用だけで足りている」が 69.3%と最も高く、次いで「利用したいが、事業の場所(本川越駅周辺)は、他の駅(□□駅)の方が良い」が 15.0%となっています。なお、他の駅との回答では、川越駅が 56 件と最も多くなっています。

(n=988)



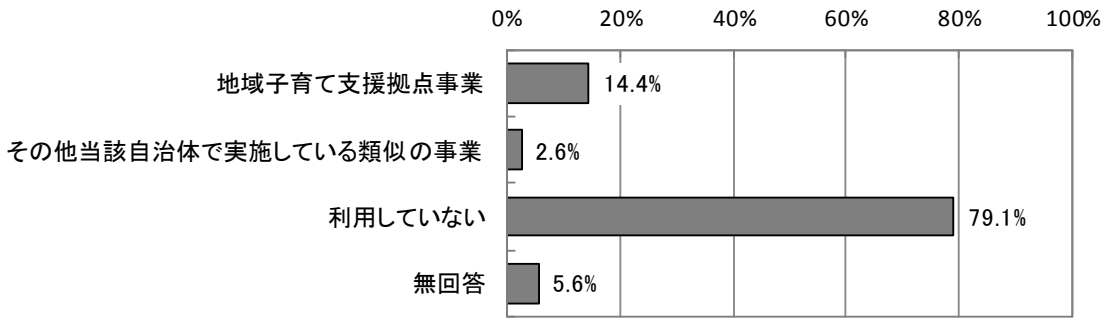
５．地域の子育て支援事業の利用状況について

5-1. 地域子育て支援拠点事業の利用状況（複数回答）

（就学前児童保護者　問 18）

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「地域子育て支援拠点事業」を利用しているが 14.4%に対し、「その他当該自治体で実施している類似の事業」は 2.6%、「利用していない」は 79.1%となっています

(n=1,295)

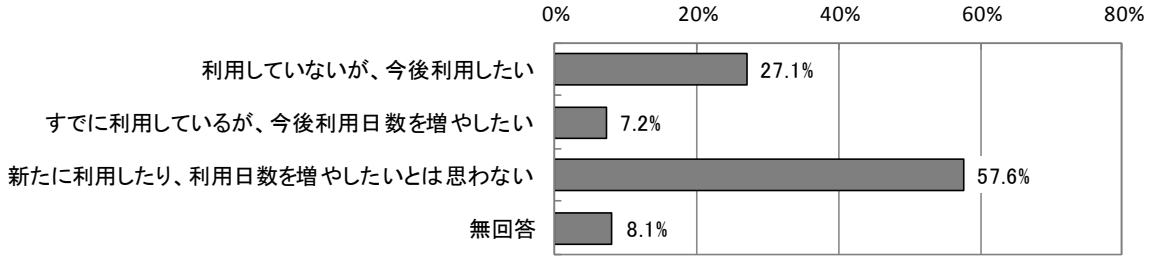


5-2. 地域子育て支援拠点事業の利用希望

（就学前児童保護者　問 19）

地域子育て支援拠点事業の利用の意向は、「利用していないが、今後利用したい(27.1%)」と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい(7.2%)」の合計割合が 34.3%に対し、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 57.6%となっています。

(n=1,295)



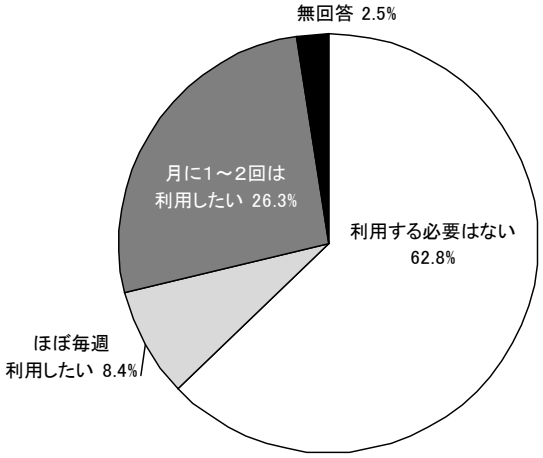
６．土曜・日曜や長期休暇中の保育事業の利用希望について

6-1. 土曜日の利用希望

（就学前児童保護者　問 21-(1)）

土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」が 62.8%に対し、「月に１～２回は利用したい（26.3%）」と「ほぼ毎週利用したい（8.4%）」の合計は 34.7%となっています。

(n=1,295)

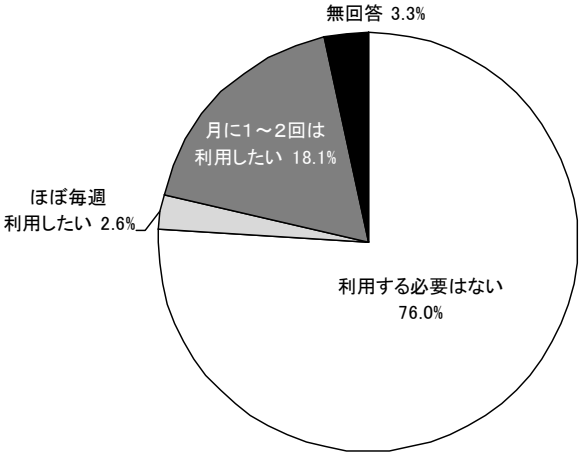


6-2. 日曜・祝日の利用希望

（就学前児童保護者　問 21-(2)）

日曜・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」のが 76.0%に対し、「月に１～２回は利用したい（18.1%）」と「ほぼ毎週利用したい（2.6%）」の合計は 20.7%となっています。

(n=1,295)

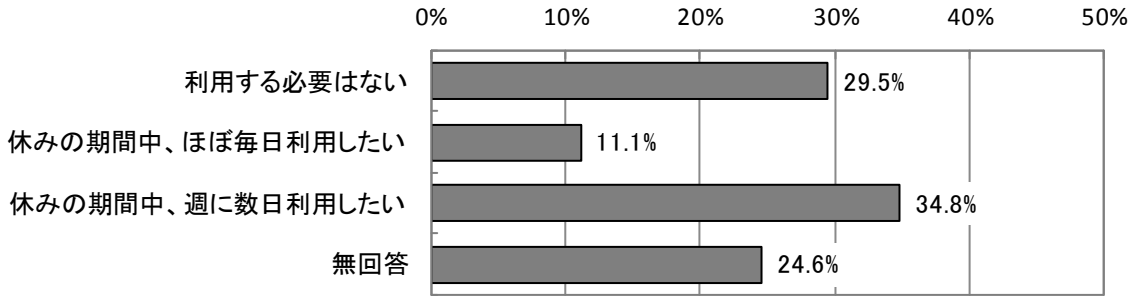


6-3. 幼稚園利用者の長期休暇期間中の事業の利用希望

（就学前児童保護者　問 22）

幼稚園利用者の夏休み・冬休みなど長期の休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」が 29.5%に対し、「休みの期間中、週に数日利用したい（34.8%）」と「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい（11.1%）」の合計は 45.9%となっています。

（n=692）

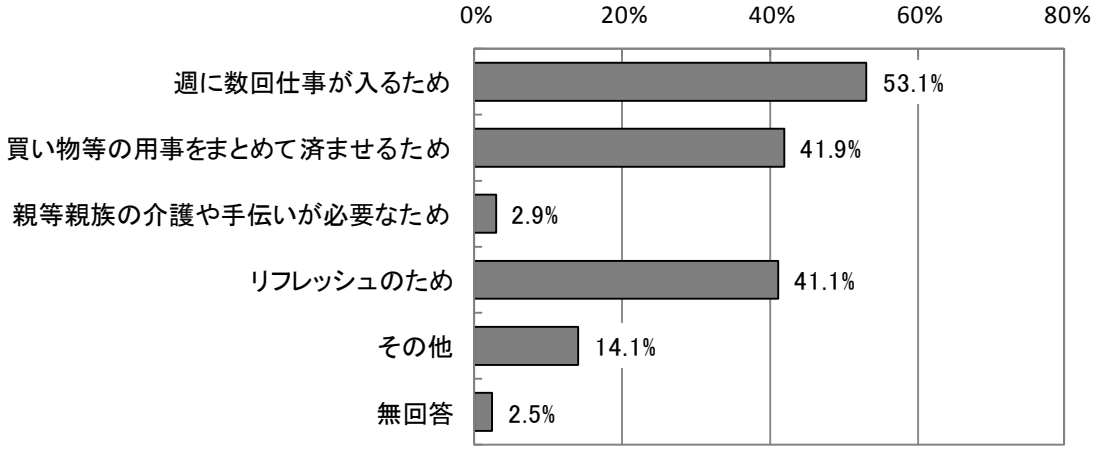


6-4. 「幼稚園」を利用している方が長期休暇期間中、たまに利用したい理由（複数回答）

（就学前児童保護者　問 22-1）

幼稚園利用者の夏休み・冬休みなど長期の休暇中の定期的な教育・保育の事業を毎日ではなく、たまに利用したい理由は、「週に数回仕事が入るため（53.1%）」、「買い物等の用事をまとめて済ませるため（41.9%）」、「リフレッシュのため（41.1%）」が高くなっています。

（n=241）



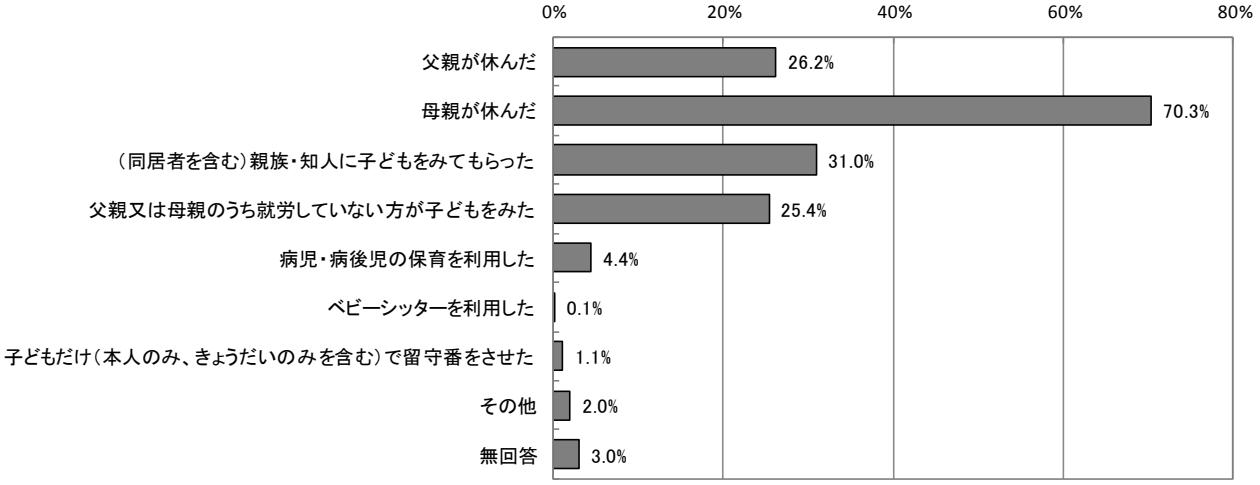
７．病気の際の対応について

7-1. 事業が利用できなかった場合の対処方法（複数回答）

（就学前児童保護者　問 23-1）

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の、この１年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」が 70.3%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が 31.0%、「父親が休んだ」が 26.2%となっています。

(n=701)

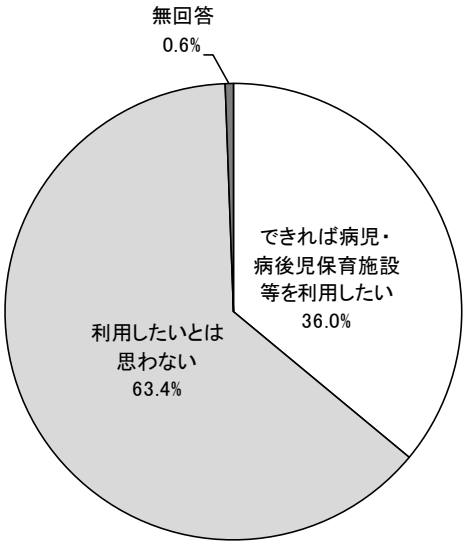


7-2. 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

（就学前児童保護者　問 23-2）

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の、病児・病後児保育施設の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 36.0%に対し、「利用したいとは思わない」が 63.4%となっています。

(n=522)

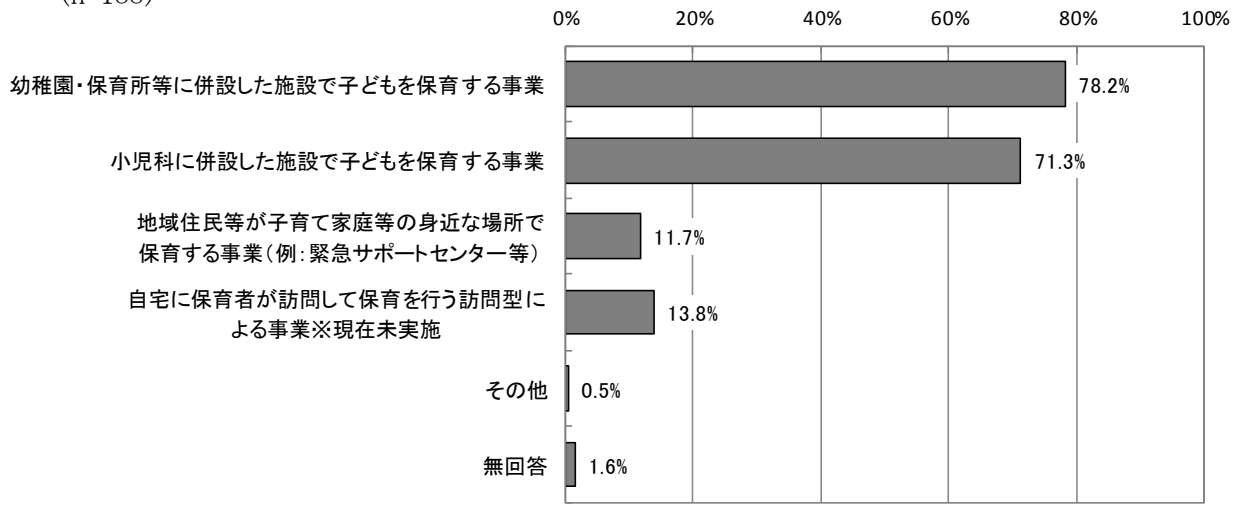


7-3. 子どもを預ける場合の望ましい事業形態（複数回答）

（就学前児童保護者　問 23-3）

病児・病後児保育施設の望ましい事業形態は、「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が 78.2%と最も高く、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 71.3%と続いています。

(n=188)



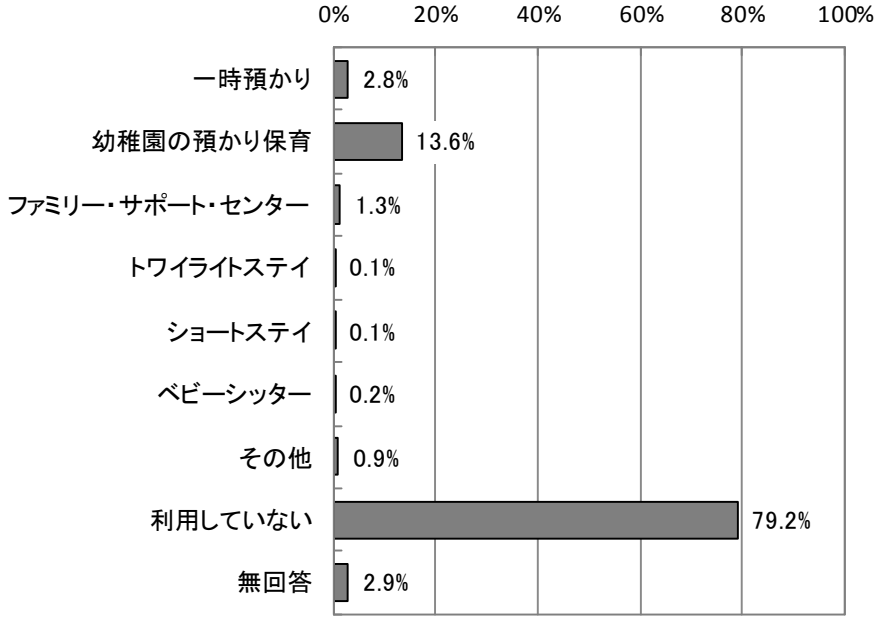
８．不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

8-1. 不定期に利用している事業（複数回答）

（就学前児童保護者　問 24）

日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業は、「幼稚園の預かり保育」が 13.6%と最も高くなっており、「利用していない」は 79.2%となっています。

(n=1,295)

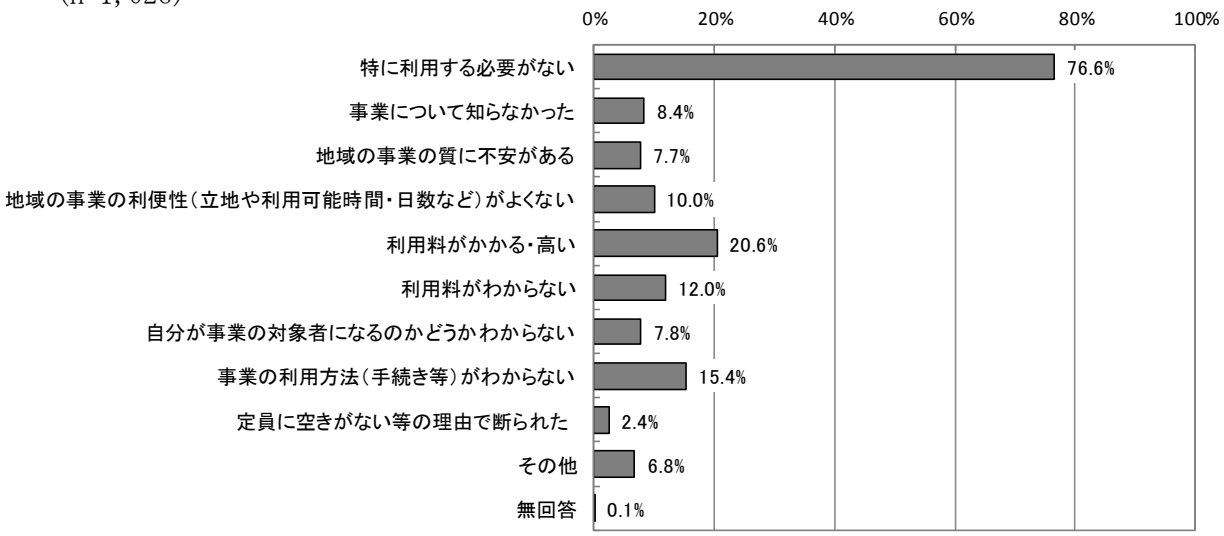


8-2. 現在利用していない理由（複数回答）

（就学前児童保護者　問 24-1）

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 76.6%と最も高くなっています。また、「利用料がかかる・高い（20.6%）」、「事業の利用方法（手続き等）がわからない（15.4%）」についても比較的高くなっています。

(n=1,026)

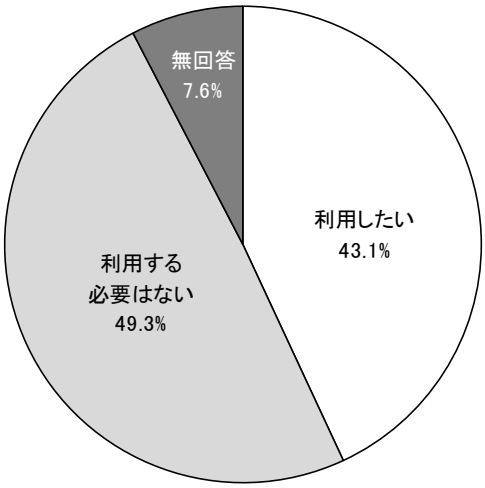


8-3. 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用希望

（就学前児童保護者　問 25）

私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業の利用希望は、「利用したい」が 43.1%に対し、「利用する必要はない」が 49.3%となっています。

(n=1,295)



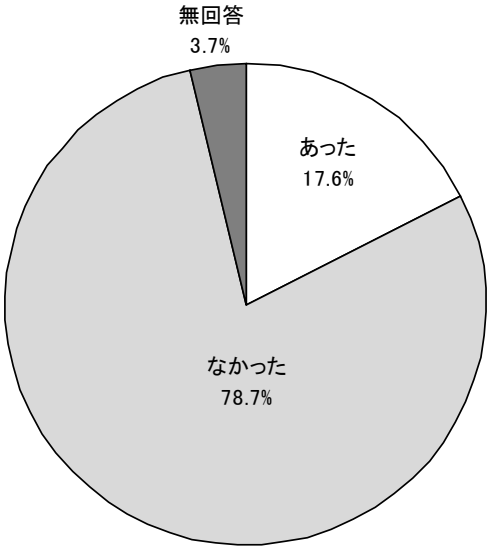
8-4. 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらったことがあったか

（就学前児童保護者　問 26）

この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった経験は、「あった」が 17.6%に対し、「なかった」が 78.7%となっています。

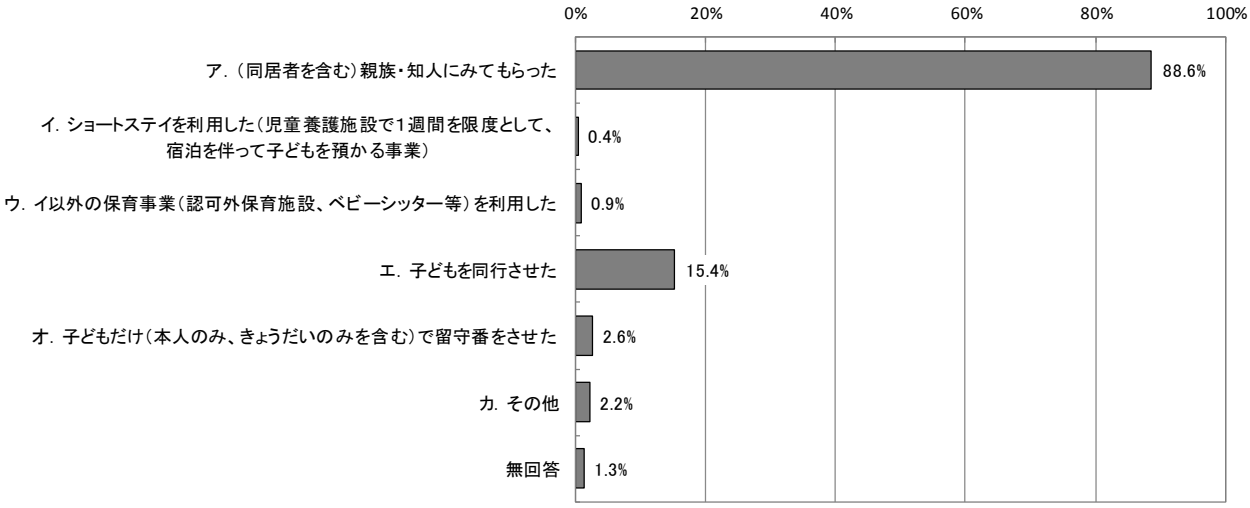
また、そのときの対処方法は、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が 88.6%と最も高く、その年間対処日数は「1 日～5 日」が 67.3%と最も高くなっています。

(n=1,295)



■対処方法（複数回答）

(n=228)



９．小学校就学後の放課後の過ごし方について

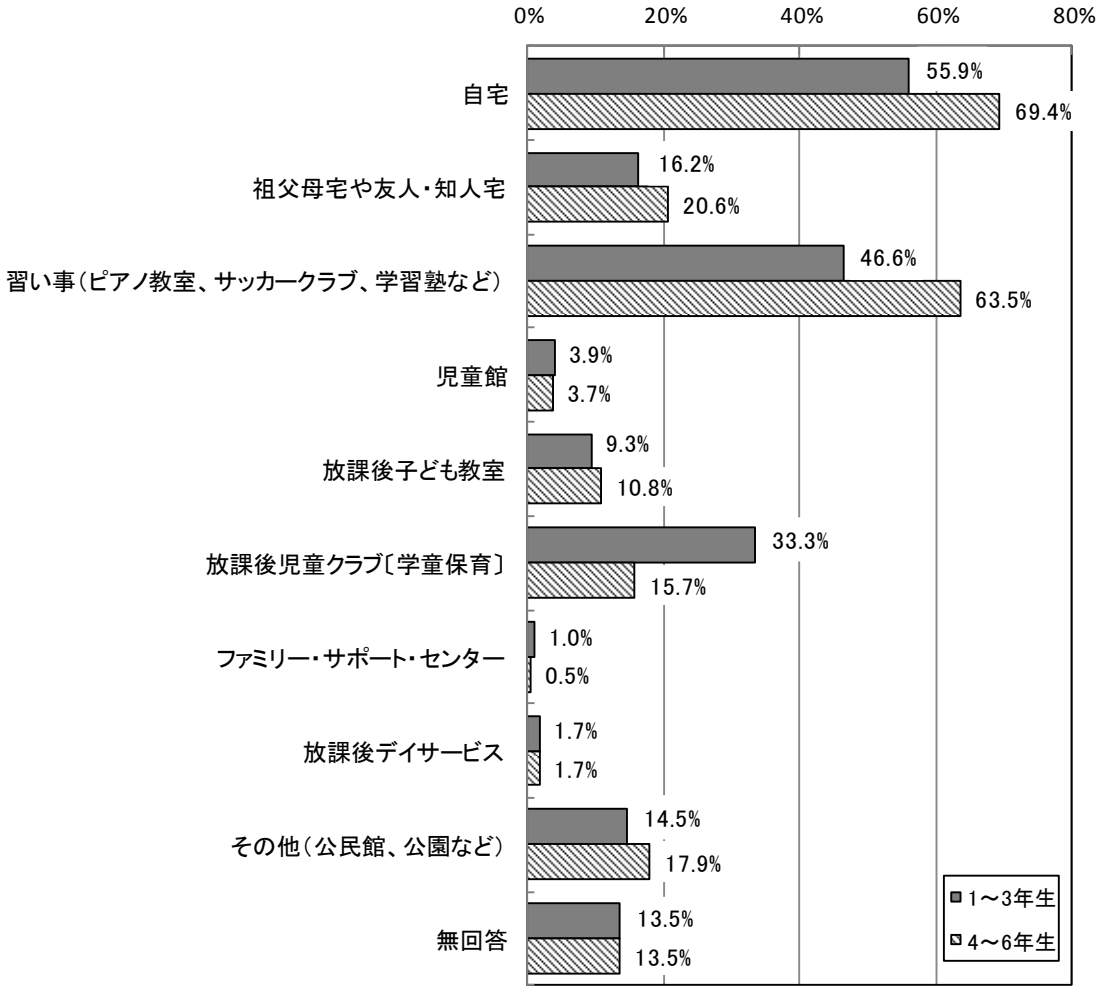
9-1. 放課後の過ごし方（複数回答）

（就学前児童保護者　問 27、28）

小学校低学年（１～３年生）のうちの希望する子どもの放課後の過ごし方は、「自宅」が 55.9%と最も高く、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）（46.6%）」、「放課後児童クラブ（学童保育）（33.3%）」も高くなっています。

また、小学校高学年（４～６年生）になったら希望する子どもの放課後の過ごし方は、「自宅」が 69.4%と最も高く、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の 63.5%と続いています。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」は、１～３年生のときと比べ減少し、15.7%となっています。

（n=408）　※5 歳以上を集計



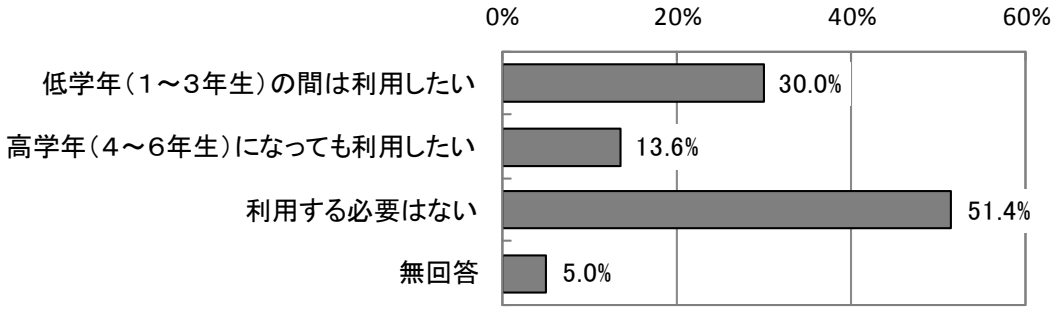
9-2. 土曜日の放課後児童クラブの利用希望

（就学前児童保護者　問 29-(1)）

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブ（学童保育）を望んでいる保護者のうち、土曜日の利用希望は、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 30.0%に対し、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 13.6%となっています。

また、「利用する必要はない」は 51.4%と最も高くなっています。

(n=140)



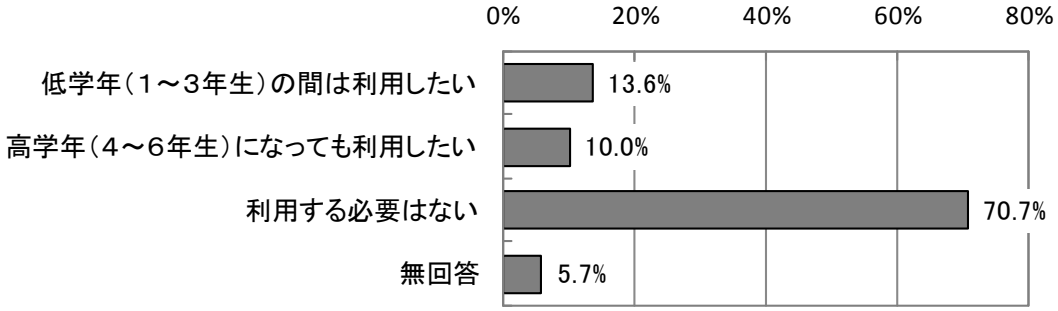
9-3. 日曜・祝日の利用希望

（就学前児童保護者　問 29-(2)）

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブ（学童保育）を望んでいる保護者のうち、日曜・祝日の利用希望は、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 13.6%に対し、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 10.0%となっています。

また、「利用する必要はない」は 70.7%と最も高くなっています。

(n=140)



１０．育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

10-1．父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得したか

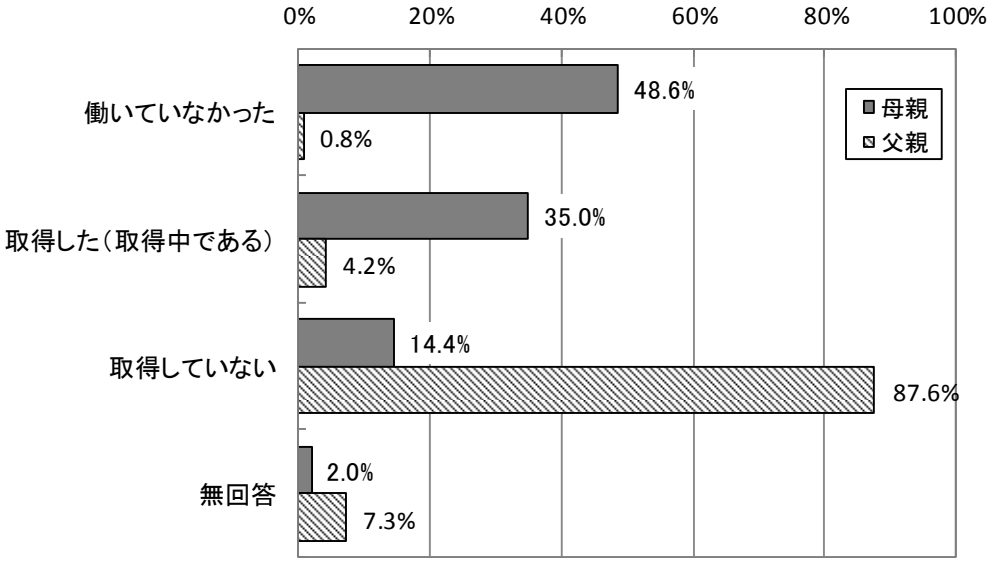
（就学前児童保護者　問 31）

子どもが生まれたときの育児休業の取得状況は、「取得した（取得中である）」は、母親が 35.0%に対し、父親は 4.2%と、父親の取得割合が低くなっています。

また、「働いていなかった」は、母親が 48.6%に対し、父親が 0.8%となっています。

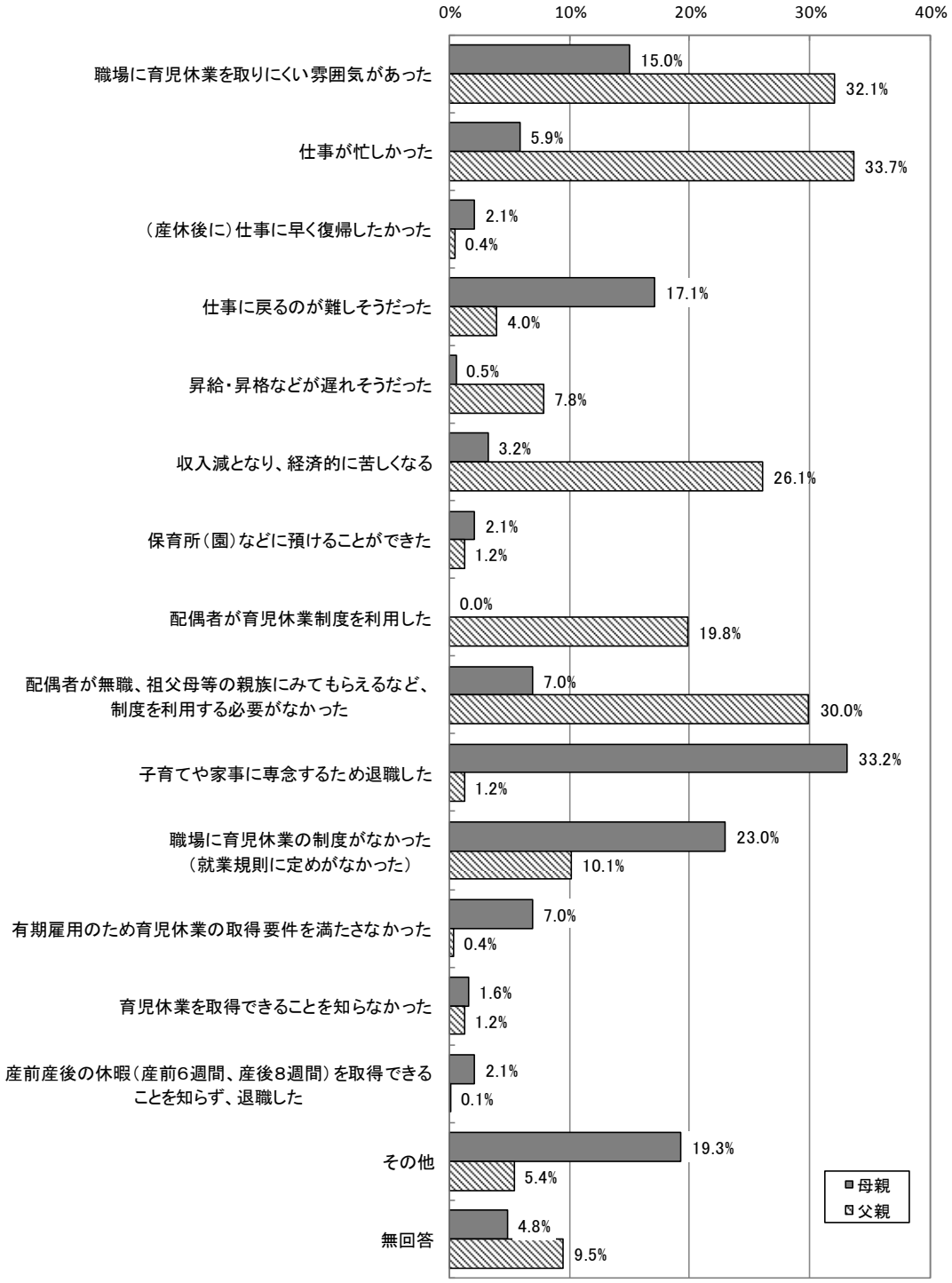
さらに、育児休業を取得していない理由は、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が 33.2%と最も高く、父親では「仕事が忙しかった（33.7%）」、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった（32.1%）」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった（30.0%）」が３割を超え比較的高くなっています。

（n=1,295）



■育児休業を取得していない理由（複数回答）

母親(n=187)、父親(n=1,135)

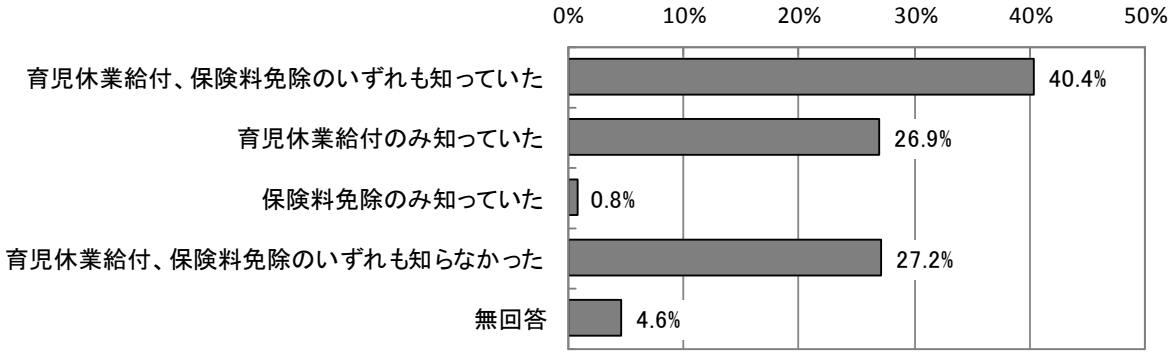


10-2. 育児休業給付と保険料免除の認知度

（就学前児童保護者　問 31-1）

育児休業給付が支給される仕組み、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みの認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 40.4%で最も高く、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」は 27.2%、「育児休業給付のみ知っていた」は 26.9%となっています。

(n=1,295)

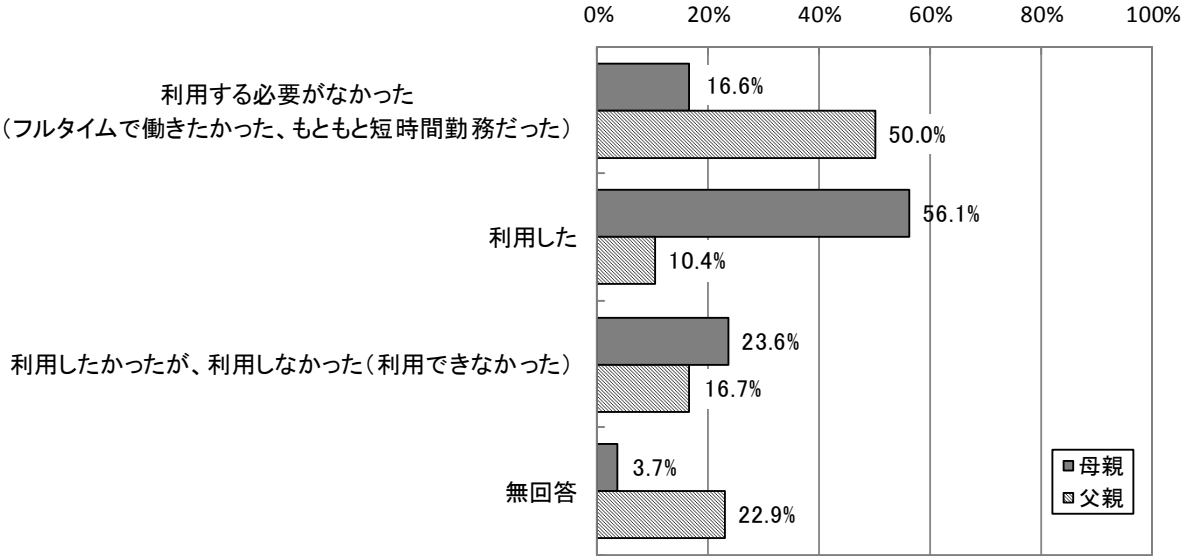


10-3. 短時間勤務制度の利用

（就学前児童保護者　問 31-7）

育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況は、母親では、「利用した」が 56.1%に対し、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 23.6%と、「利用した」が大きく上回っています。また、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」は 16.6%となっています。

母親(n=326)、父親(n=48)

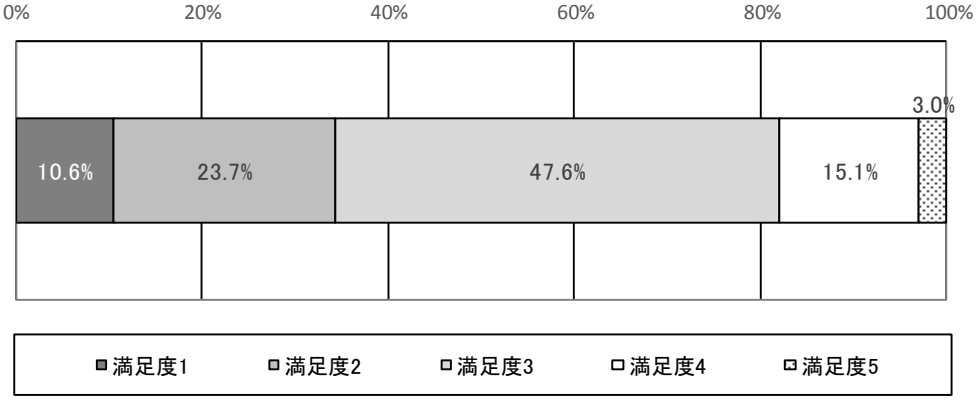


10-4. 川越市の子育ての環境や支援への満足度

（就学前児童保護者　問 32）

住まいの地域における子育て環境や支援への満足度は、「満足度１（10.6%）」と「満足度２（23.7%）」の合計が 34.3%に対し、「満足度４（15.1%）」と「満足度５（3.0%）」の合計が 18.1%となっています。

（n=1,193）※無回答を除いています。



※満足度１(低い)　⇔　満足度 5(高い)